

新総合計画の策定に係る県民意識調査の概要(新川地域)

○目的

総合計画に掲げる政策に関する県民ニーズの把握

○調査時期・対象

- ・平成 29 年 1 月～2 月
- ・県内の満年齢18歳以上の男女(無作為抽出)2,000 名、県政モニター193 人 計 2,193 人
→回答 985 人(44.9%) うち**新川地域(魚津市、黒部市、入善町、朝日町)は 108 人(10.9%)が回答**

○調査項目

- ・未来の富山に関する意識調査(10年後の県民生活に係る県民意識)
- ・選好度調査(現行計画の各項目についての県民ニーズ<重要度と充足度>)

○. 結果の要点

1. 意識調査(10年後の県民生活のイメージ)

- ・「情報化が更に進展している」「様々な文化を楽しむ機会が増加している」「学術研究や科学技術、スポーツ・文化等の分野で活躍する人が増えている」と**思う人**がいずれも 50%を超え、**情報化が更に進展するとともに、文化に親しむ機会や各分野で活躍する住民が増加**していると考える人が多い。

「犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている」、「医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる」、「仕事と子育てが両立しやすいなど、安心して子どもを生み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている」と**思わない人**がいずれも 50%を超え**今後の少子高齢化の進展や社会保障などに対する不透明感や不安感等を反映**。

- ・**県全体と比べると、「女性・高齢者・障害者などが自分にあった働き方を選択できる環境が整っている」**「高齢者、障害者をはじめ、誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している」、と**思わない人**の割合が**相対的に低く、50%以下となっている**。

一方、「**環境に対する意識が高まり、環境にやさしいライフスタイルが定着している**」と**思う人**の割合が、県全体と比べると**少なくなっている**。

2. 選好度調査

(1) 重要度(現行総合計画の各項目がどの程度重要であるか)

- ・現行総合計画の各項目の重要度について、新川地域では、「家庭・地域・職場における子育て支援」が最も高く、次いで、「子どもの健全な育成」、「子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」となるなど、**県全体と同様、子育て・教育の領域が上位を占めている**。

(2) 充足度(現行計画の各項目がどの程度充足されているか)

- ・現行総合計画の各項目の充足度について、新川地域では、低い順に「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」「雇用の確保と人材の育成」「中心市街地の賑わいの創出」となるなど、**県全体と同様、まちの活力や雇用・人材育成に関する施策の充足度が低い傾向**が見られる。

県全体と比べると「**生活交通の確保**」の未充足度が 11 位(県全体 4 位)と**充足度が相対的に高くなっている**。一方で、「**交流人口の拡大、定住・半定住の促進**」の未充足度が 5 位(県全体は 11 位)となり、**充足度が相対的に低くなっている**。

○調査結果(新川地域)

【 I 意識調査】

問：10年後の県民生活のイメージについて、2026年頃の県民生活は、どのようになるとお考えですか。 ※「そう思う」、「思わない」、「わからない」から1つ選択。

- ・「情報化が更に進展している」「様々な文化を楽しむ機会が増加している」「学術研究や科学技術、スポーツ・文化等の分野で活躍する人が増えている」と思う人がいずれも50%を超え、情報化が更に進展するとともに、文化に親しむ機会や各分野で活躍する住民が増加していると考え人が多い。

「犯罪や消費者被害が減り、安心して暮らせる社会となっている」、「医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後の生活を送ることができる」、「仕事と子育てが両立しやすいなど、安心して子どもを産み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている」と思わない人がいずれも50%を超え、今後の少子高齢化の進展や社会保障などに対する不透明感や不安感等を反映。

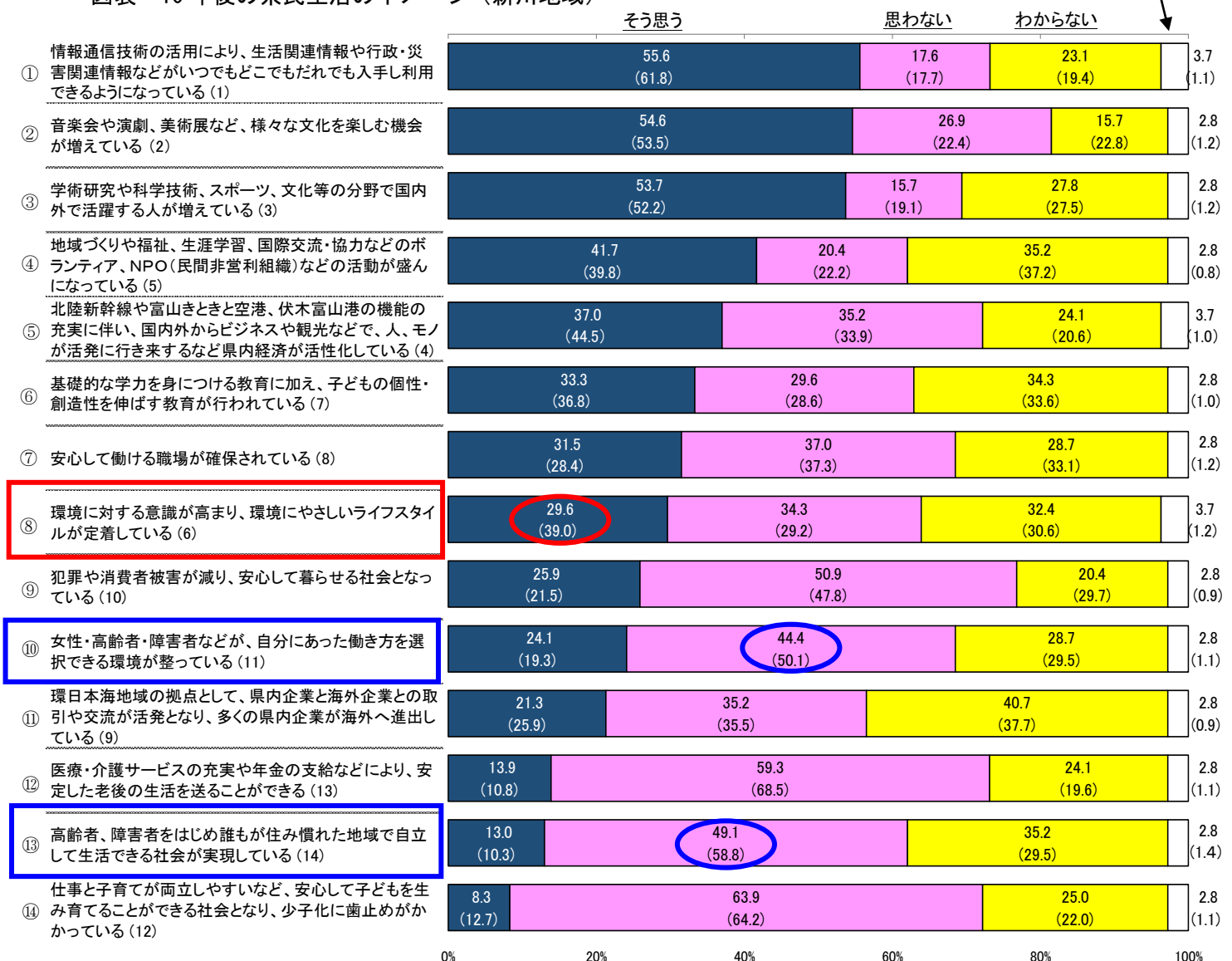
- ・県全体と比べると、「女性・高齢者・障害者などが自分にあった働き方を選択できる環境が整っている」「高齢者、障害者をはじめ、誰もが住み慣れた地域で自立して生活できる社会が実現している」と思わない人の割合が相対的に低く、50%以下となっている。

一方、「環境に対する意識が高まり、環境にやさしいライフスタイルが定着している」と思う人の割合が、県全体と比べると少なくなっている。

図表 10年後の県民生活のイメージ (新川地域)

() 内は県全体の順位と割合

無回答



【Ⅱ 選好度調査】

問 次にあげる項目について、その重要度と充足度をおたずねします。

1. 重要度

重要度は、現行の総合計画の項目について、どの程度重要であるかという「重要である度合い」について、「きわめて重要である」から「全く重要でない」までの5段階で尋ねたもの。

【調査結果】

ア. 重要度が高い項目

新川地域では、「家庭・地域・職場における子育て支援」が最も高く、次いで、「子どもの健全な育成」、「子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」となるなど、**県全体と同様、子育て・教育の領域が上位を占めている**。また、健康・福祉に関する項目も、「地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」が5位、「医療提供体制の充実」が7位と県全体と同様の傾向が見られる。

図表 重要度が高い項目（上位10項目） ■は子育て・教育関連

順位	県全体		新川地域	
	項目	得点	項目	得点
1	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	4.47	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.50
2	24 家庭・地域・職場における子育て支援	4.46	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	4.49
3	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.36	27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	4.42
4	44 医療提供体制の充実	4.33	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.38
5	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	4.33	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.38
6	43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	4.27	63 人づくり(子ども)	4.34
7	63 人づくり(子ども)	4.24	44 医療提供体制の充実	4.34
8	1 景気対策	4.23	52 生活環境の保全	4.25
9	46 高齢者福祉の充実	4.22	46 高齢者福祉の充実	4.24
10	55 生活交通の確保	4.22	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.23

※重要度の得点は「重要である度合い」を得点化したもので、重要度の5段階それぞれに「きわめて重要である」=5点から「まったく重要でない」=1点までの得点を与え、項目ごとに回答者数で加重した平均得点を求め、重要度に関する人々の評価を指標化した。

イ. 重要度が前回(H22調査)に比べて高くなった項目

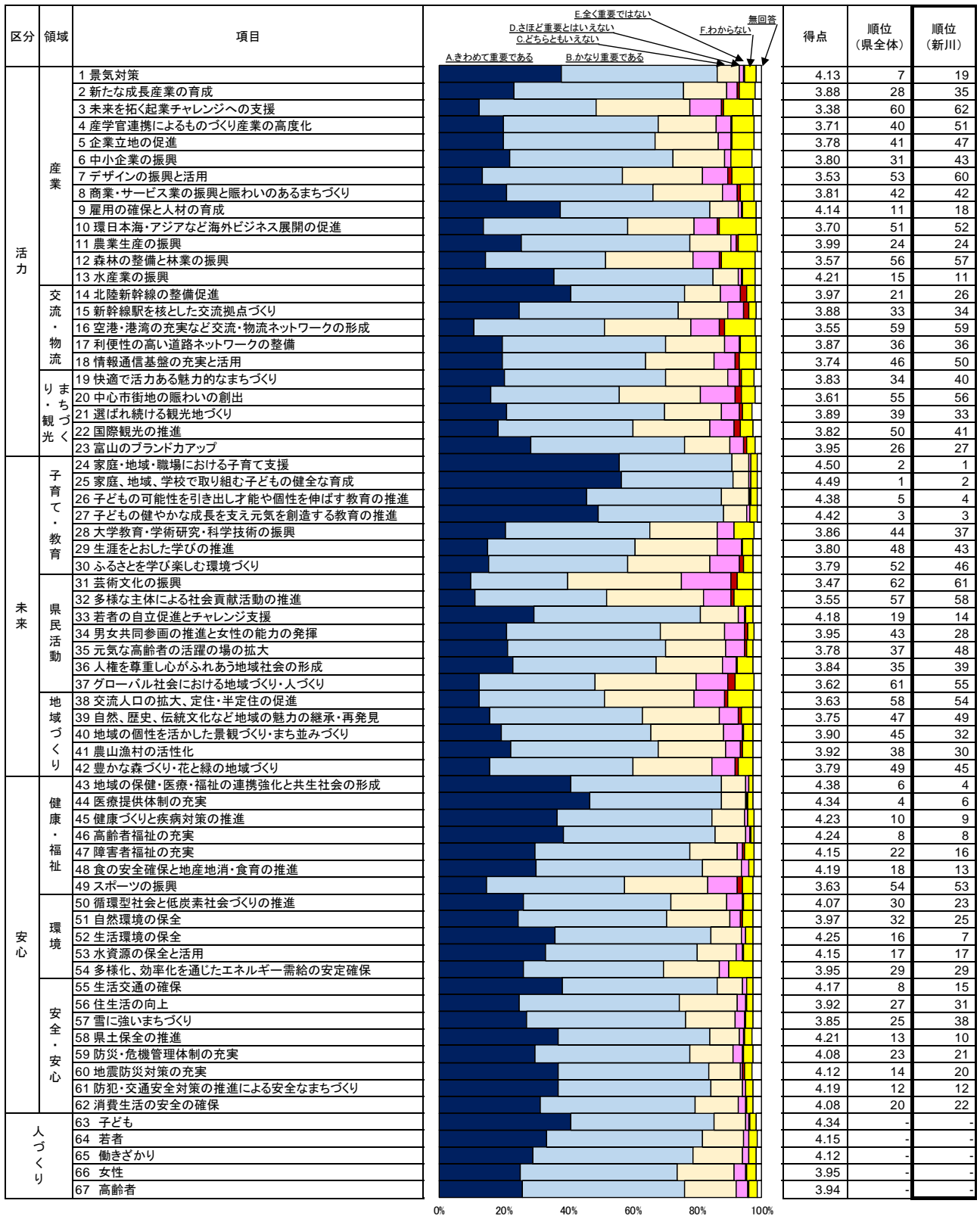
新川地域において、前回に比べて重要度が最も上昇した項目は、**県全体と同様「新幹線駅を核とした交流拠点づくり」となり、北陸新幹線開業による意識の高まりを反映している**。次いで、「男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」、「若者の自立促進とチャレンジ支援」となるなど、若者や女性の活躍が重要と考える住民が増加している。

図表 重要度が前回(H22調査)に比べて高くなった項目（上位5項目）

順位	県全体				新川地域			
	項目	今回得点	前回得点	差	項目	今回得点	前回得点	差
1	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.91	3.42	0.48	15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	3.88	3.30	0.59
2	14 北陸新幹線の整備促進	4.06	3.66	0.40	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.95	3.44	0.51
3	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	4.47	4.08	0.38	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	4.18	3.67	0.50
4	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.52	3.17	0.35	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.63	3.13	0.50
5	45 健康づくりと疾病対策の推進	4.20	3.89	0.31	25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	4.49	4.02	0.47

※前回のとの差を計算する際、端数処理の関係で数字にずれが生じる場合がある。

図表 項目別の重要度（新川地域）



※項目番号 63～67 の「人づくり」の 5 項目については、施策横断的な項目であることから、他分野との全体順位比較を行っていない。

2. 充足度

充足度は、現行の総合計画の項目について、どの程度充足しているかという「充足している度合い」について「十分充足されている」から「ほとんど充足されていない」までの5段階で尋ねたもの。

【調査結果】

ア. 未充足度が高い（充足度が低い）項目

新川地域において、未充足度は、「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が最も高い。次いで「中心市街地の賑わいの創出」、「雇用の確保と人材の育成」の順となっており、県全体と同様、まちの活力や雇用・人材育成に関する項目が低い傾向が見られる。

県全体と比べると「生活交通の確保」の未充足度が11位（県全体4位）と充足度が相対的に高くなっている。一方で、「交流人口の拡大、定住・半定住の促進」の未充足度が5位（県全体は11位）となり、充足度が相対的に低くなっている。

図表 未充足度が高い項目（上位10項目）

順位	県全体		新川地域	
	項目	得点	項目	得点
1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.79	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.74
2	9 雇用の確保と人材の育成	3.56	20 中心市街地の賑わいの創出	3.67
3	20 中心市街地の賑わいの創出	3.52	9 雇用の確保と人材の育成	3.56
4	55 生活交通の確保	3.49	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.50
5	12 森林の整備と林業の振興	3.48	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	3.48
6	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.43	24 家庭・地域・職場における子育て支援	3.47
7	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.43	12 森林の整備と林業の振興	3.47
8	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.42	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.44
9	59 防災・危機管理体制の充実	3.40	25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	3.42
10	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.39	19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	3.40

※県全体11位 38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進 3.38

※新川地域11位 20 生活交通の確保 3.39

※充足度得点は「充足されている度合い」を得点化したもので、充足度の5段階それぞれに「十分充足されている」=5点から「ほとんど充足されていない」=1点までの得点を与え、項目ごとに回答者数で加重した平均得点を求め、充足度に関する人々の評価を指標化したもの。未充足度得点は、6-充足度得点として算出し、得点が高いほど、充足されていない項目であると考えられる。

イ. 未充足度が前回(H22調査)に比べて高くなった項目

新川地域において、前回に比べて最も未充足度が高くなった項目は、「若者の自立促進とチャレンジ支援」であり、次いで「男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」、「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」の順となっている。

図表 未充足度が前回に比べて高くなった項目（上位5項目）

順位	県全体				新川地域			
	項目	今回得点	前回得点	差	項目	今回得点	前回得点	差
1	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.79	3.41	0.38	33 若者の自立促進とチャレンジ支援	3.50	3.17	0.33
2	12 森林の整備と林業の振興	3.48	3.15	0.33	34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	3.44	3.11	0.32
3	11 農業生産の振興	3.26	2.94	0.31	8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	3.74	3.41	0.32
4	56 住生活の向上	3.35	3.07	0.28	12 森林の整備と林業の振興	3.47	3.17	0.30
5	21 選ばれ続ける観光地づくり	3.42	3.18	0.23	11 農業生産の振興	3.24	2.95	0.29

※前回との差を計算する際、端数処理の関係で数字にずれが生じる場合がある。

図表 項目別の未充足度（新川地域）

区分	領域	項目	未充足度						得点	順位 (県全体)	順位 (新川)		
			A.十分充足されている	B.かなり充足されている	C.どちらともいえない	D.あまり充足されていない	E.ほとんど充足されていない	F.わからない	無回答				
活力	産業	1 景気対策	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.27	19	30		
		2 新たな成長産業の育成	15%	20%	30%	25%	10%	5%	2.92	59	58		
		3 未来を拓く起業チャレンジへの支援	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.26	17	34		
		4 産学官連携によるものづくり産業の高度化	10%	15%	25%	30%	15%	5%	2.81	55	59		
		5 企業立地の促進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.14	27	46		
		6 中小企業の振興	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.29	20	24		
		7 デザインの振興と活用	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.28	35	27		
		8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.74	1	1		
		9 雇用の確保と人材の育成	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.56	2	3		
		10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.21	38	42		
		11 農業生産の振興	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.24	26	38		
		12 森林の整備と林業の振興	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.47	5	7		
		13 水産業の振興	10%	15%	25%	30%	15%	5%	2.73	62	62		
交流・物流	交流・物流	14 北陸新幹線の整備促進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.28	37	28		
		15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.36	18	15		
		16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.39	20	12		
		17 利便性の高い道路ネットワークの整備	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.10	58	50		
		18 情報通信基盤の充実と活用	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.02	56	57		
		19 快適で活力ある魅力的なまちづくり	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.40	7	10		
まちづくり	まちづくり	20 中心市街地の賑わいの創出	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.67	3	2		
		21 選ばれ続ける観光地づくり	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.35	8	20		
		22 国際観光の推進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.29	31	25		
		23 富山のブランドカアップ	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.14	50	46		
		24 家庭・地域・職場における子育て支援	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.47	13	6		
		25 家庭・地域・学校で取り組む子どもの健全な育成	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.42	25	9		
未来	県民活動	26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.27	39	31		
		27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.33	30	21		
		28 大学教育・学術研究・科学技術の振興	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.36	24	16		
		29 生涯をおとした学びの推進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.26	36	32		
		30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.21	29	43		
		31 芸術文化の振興	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.27	28	29		
		32 多様な主体による社会貢献活動の推進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.32	32	22		
		33 若者の自立促進とチャレンジ支援	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.50	6	4		
		34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.44	10	8		
		35 元気な高齢者の活躍の場の拡大	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.21	22	41		
		36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.36	15	17		
		37 グローバル社会における地域づくり・人づくり	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.37	14	13		
		地域づくり	地域づくり	38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.48	11	5
39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.25	32	37		
40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.23	43	40		
41 農山漁村の活性化	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.26	41	36		
42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.24	46	39		
43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.32	23	23		
安心	健康・福祉	44 医療提供体制の充実	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.11	48	48		
		45 健康づくりと疾病対策の推進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.04	49	54		
		46 高齢者福祉の充実	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.08	45	53		
		47 障害者福祉の充実	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.37	12	14		
		48 食の安全確保と地産地消・食育の推進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.02	57	55		
		49 スポーツの振興	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.10	53	49		
		50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.36	40	19		
		51 自然環境の保全	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.26	51	33		
		52 生活環境の保全	10%	15%	25%	30%	15%	5%	2.76	60	61		
		53 水資源の保全と活用	10%	15%	25%	30%	15%	5%	2.81	61	60		
		54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.08	52	52		
		55 生活交通の確保	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.39	4	11		
		安全・安心	安全・安心	56 住生活の向上	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.28	16	26
57 雪に強いまちづくり	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.02	47	55		
58 県土保全の推進	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.09	54	51		
59 防災・危機管理体制の充実	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.36	9	18		
60 地震防災対策の充実	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.26	34	34		
61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.19	42	44		
62 消費生活の安全の確保	10%			15%	25%	30%	15%	5%	3.18	44	45		
人づくり	人づくり			63 子ども	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.23	-	-
				64 若者	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.39	-	-
				65 働きざかり	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.27	-	-
		66 女性	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.43	-	-		
		67 高齢者	10%	15%	25%	30%	15%	5%	3.36	-	-		

※項目番号 63～67 の「人づくり」の 5 項目については、施策横断的な項目であることから、他分野との全体順位比較を行っていない。